昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2026年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2026年（令和８年）
1月11日日曜日
第1999号

京都自動車新聞

京都運輸支局長　年頭所感　2
2026 新春座談会 第２回　4
新規登録時の部品取付で一部変更　7
JU京都青年部チャリティーオークション　8
◀京都三菱 増岡浩氏がデモラン　6

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp　https://kyotojidosha-np.jp

労働環境改善むけ積極活動

トラ・物流Gメン　労働局とアポなし訪問

トラック・物流Gメンがトラックドライバーの労働環境改善に向け積極的に活動を展開している。国土交通省が12月に発表した集中監視月間（2025年10月～11月）の取り組み結果によると、働き掛け等の是正指導を371件実施。このうち過去に要請を受けたにもかかわらず、依然として違反原因行為を続けている疑いのある荷主等に対し勧告を1件（着荷主）行った。同月間中には、京都府内でも京都運輸支局と京都労働局が一緒にパトロールする一方、京都府トラック協会（平島竜二会長）のGメン調査員と合同ヒアリングするなど精力的に活動した。

「労働環境改善には荷主企業の協力が不可欠なため理解を求めるとともに、物流の2024年問題も併せて周知したい。本日はすべて事前連絡なしの訪問。話を聞いてもらえるかは分からない」

集中監視月間中の11月上旬、京運支局のトラック・物流Gメンと京都労働局の荷主特別対策チームの荷主特別対策担当官らはこう話ながら終日、長岡京市の荷主企業などを訪ねて回った。両者が合同で周知活動に取り組むのは京都では初めてのことだ。

「トラックドライバーの長時間労働抑制に向け長時間の恒常的な荷待ちの防止などをお願いして回っている」。ある食品メーカーを訪れたものの、残念ながら担当者が不在で詳しい話をする機会は得られなかった。そのため、施設入り口で①恒常的に長い荷待ち時間②無理な到着時間の設定③過積載になるような依頼――など、トラック運送事業者の法令違反原因となる恐れがある行為をまとめたリーフレットを手渡すだけにとどまったが、対応した社員は、突然の訪問に戸惑いを隠せない様子だった。

午前中、最後に訪れた一般産業用部品メーカーの工場では応接室に通され、トラック・物流Gメンおよび荷主特別対策担当官らは、リーフレットや資料を示しながら、改善基準告示に配慮した発注や標準的な運賃に対する理解などを求めた。応対した総務課長は「荷主企業側の責任と理解しており、物流の24年問題は社内で情報共有している。この工場のトラックヤードでトラックがたくさん待機しているのはみたことがない。待ち時間を少なくするよう指示していると思われる。調達部門にはいま一度確認してみる」と一定の理解を示した。

荷待ち防止など周知

Gメン調査員ら　星和電機で意見交換

さらに、トラック・物流Gメンは10月、京都府トラック協会（平島竜二会長）のGメン調査員と城陽市の星和電機を合同パトロール。同社生産事業本部社会システム事業部長兼生産企画管理部長の土倉充伸執行役員らと意見交換した。

同社はホワイト物流運動の趣旨に賛同し、19年に自主行動宣言。取り組み方針として「事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます」を掲げた。

具体的には、パレットの活用による荷役時間削減や高速道路の利用、運送契約の書面化の推進、運賃と料金の別建て契約、契約の相手方を選定する際の法令順守状況の考慮、異常気象等の運行の中止・中断等――を取り組み行動として決定。物流が関連する場所にポスターを掲示し共有したほか、「24年10月には全国の営業担当者100人、工場の生産管理や物流作業担当者を対象に説明を開き、物流の24年問題の課題および対策を水平展開、全社挙げて物流改善を進めている」という。

それらを受け、Gメン調査員は「運送事業者を選定する際の基準に安全性優良事業所認定（Gマーク）を考慮してほしい」と依頼した。

また、12月には名神高速道路下り線の桂川パーキングエリア（京都市南区）でも実態調査および、1月施行の中小受託取引適正化法（取適法）の周知活動も行った。

国交省では今後、公正取引委員会、中小企業庁の3省庁と貨物自動車運送事業法や取適法に基づく執行のシームレスな連携が図られるよう情報共有に向けた連絡会議を定期的に開催する計画で、持続可能な物流体制構築に本腰を入れる構えだ。

物流の24年問題に対する取り組みをヒアリング

追跡データベース
―日銀京都支店編―

個人消費揺るやかな回復続く
8月　設備投資は増加ペース鈍化

京都府の景気は一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな回復基調が続く。個人消費は一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。観光は増加。設備投資は増加ペースが鈍化する一方、公共投資は高水準で推移。生産は緩やかに持ち直してる。雇用・所得関係も緩やかに改善している。

主な業態別では、スーパー販売額が弱めの動きだった。日銀京都支店が発表した。

指　　標	前年比(増率)
主要小売業販売額(8月)	1.4%
京都地区の百貨店売上高(8月)	1.4%
スーパー販売額(8月)	▲0.6%
家電販売額(8月)	4.0%
乗用車新車登録台数(8月)	▲7.1%
京都市主要ホテル宿泊客数(8月)	10.0%
管内短観の設備投資額(9月)	10.4%
京都府の新設住宅着工戸数(8月)	52.6%
京都府の公共工事請負金額(9月)	62.9%
京都府の鉱工業生産指数(7月)	3.6%(前月比)
京都府の有効求人倍率(8月)	1.26倍(前月比)
京都府の雇用保険被保険者数(8月)	0.2%
京都市の消費者物価指数(8月)	3.0%
貸出(8月)	2.1%

電装組合 親睦事業
2年連続のバスケ観戦

京都府自動車電装品整備商工組合（杉江勝理事長）は12月、バスケットボール男子Bリーグ1部・京都ハンナリーズのホーム戦を観戦するレクリエーションを実施、組合員やスタッフら45人が参加した。

同組合が親睦事業としてバスケットボール観戦を企画するのは、昨年に引き続き2回目。西浩司副理事長の発案によるもので、「雨天でも影響を受けないのが決め手」（西副理事長）だという。レクリエーションは組合の恒例行事。

ゲームは、ハンナリーズが京都市体育館で川崎ブレイブサンダースを迎え撃つ公式戦。ハンナリーズは序盤先行されるも、中盤以降に怒濤の巻き返しを見せ、19点差あったビハインドを徐々に縮めていった。試合終了間際、その日チーム最多12得点をたたき出したポイントガード澁田怜音の放ったスリーポイントシュートがリングに嫌われ77対80で涙をのんだ。

杉江理事長は「参加者の中にはリピーターも多かった。今後も協議しながら電装業とガラス修理業が懇親を深められるよう、諸施策を講じていきたい」としている。

豊富なラインナップ

Japan venture　HITACHI Inspire the Next　TOOLPLANET TECHNOLOGY　AUTEL　LAUNCH　G-SCAN

DT-3300　HDM-9000　Diagnostic Tool TPM-3　MaxiSys Ultra　X-431 PAD VII　G-SCAN | 2 Tab

株式会社大黒商会 DAIKOKUSHOKAI
本社
京都市右京区西院平町 10 番地
TEL：075-311-0141
営業所
京都・南・亀岡・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢・奈良・彦根